

## 申請の手引き（補足事項）

申請の手引きとあわせてご確認ください。

### 【様式1について】

#### 1. 基本情報

- ・ 機構の奨学生番号が複数ある場合は、全て記入してください。

#### 2. 振込先情報

- ・ 日本学生支援機構の奨学生でない場合は、必ず記入してください。口座は本人名義に限ります。

#### 3. 申し送り事項

※に記載されていること以外で、下記についても記入してください。

- ・ 様式2の①で、「自宅で生活しているが家庭から支援を受けていない」に該当する場合は、学費等の援助を受けていない事情と、それらを自ら賄っていることについて記入してください。
- ・ 様式2の③で、家庭の収入減少を証明する書類（公的支援の受給証明書等）を提出しない場合は、家庭からの追加的支援が期待できない事情を記入してください。
- ・ 様式2の④1)は、令和3年4月～申請時点まで、想定していたアルバイト収入が得られない状況が継続している場合に該当します。想定していたアルバイト収入が得られない状況が継続している事情と、令和3年4月時点で予定していたアルバイト収入額（年額）と実際のアルバイト収入見込額（年額）を記入してください。
- ・ 様式2の④2)に該当する場合は、アルバイト収入が大きく減少した事情及びその状況が改善していない事情と、令和3年4月時点で予定していたアルバイト収入額（年額）と実際のアルバイト収入見込額（年額）を記入してください。
- ・ 様式2の④3)に該当する場合は、アルバイト収入を増やさざるを得ない事情と令和3年度のアルバイト収入見込額（年額）を記入してください。
- ・ 様式2の⑤3)で、「利用を予定している者」に該当する場合は、いつ頃どのような奨学金等に申請予定（申請中）か金額も含めて記入してください。
- ・ 様式2の⑤3)で、認定書等のコピーが提出できない場合は、支援制度の名称や金額等を記入してください。

#### 4. 添付書類

##### 【アパート等の賃貸契約書の写し】

- ・ アパート名・住所、契約期間、賃料、入居者氏名が確認できるページを添付してください。

##### 【預金通帳の写し】

- ・ 通帳を1枚めくった口座番号や口座名義(カナ氏名)が確認できるページを添付してください。

##### 【アルバイト先からの給与証明】

- ・ 様式2の④2)に該当する場合は、令和2年1月以降でアルバイト収入が大きく減少した月とその前月の2か月分の給与明細等のコピーを添付してください。なお、その減少した月が令和3年3月以前の場合は、今年度のアルバイト収入が、その時点から改善していないことが証明できるもの（給与明細書等のコピー）もあわせて提出してください。

##### 【奨学生証など認定証の写し】

- ・ 日本学生支援機構の奨学金を受給している場合は、奨学生証のコピーは不要です。それ以外のものはできるだけ認定書等のコピーを提出してください。

〔次頁に続く〕

【様式2について】

- ・①自宅外で生活しているとは、生計維持者のもとを離れて家賃を支払って生活している状態のことをいいます。
- ・②家庭からの仕送り年額は、授業料及び家賃を学生本人ではなく家庭が負担している場合は、授業料・家賃欄にも必ず記載し、授業料、家賃、その他の計を総額欄に記載してください。
- ・④のアルバイト収入について、アルバイト先で雇用調整助成金による休業補償を受けている場合には、当該手当もアルバイト収入とみなされます。
- ・⑤の「第一種奨学金（無利子奨学金）の限度額まで利用している」について、申込時の家計収入により最高月額（自宅生 45,000 円、自宅外生 51,000 円）が借りられなかった場合は、最高月額以外の月額で最も高い月額（自宅生 30,000 円、自宅外生 40,000 円）を利用していれば要件を満たしていることとなります。